

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

1. 学校概要

学校名 広島県立大門高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

住所 〒 721 - 0913
広島県福山市幕山台三丁目1番1号

E-mail : daimon-h@hiroshima-c.ed.jp

Website : http://www.daimon-h.hiroshima-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 426 名 女子 522 名 合計 948 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 科学 ）

4. 活動内容

活動テーマ 未来を創造する若者を育てる探究活動の推進

(1) 1年間の主な活動内容について

ア 理数コース生徒の探究活動

(ア) 校外活動との接続

広島県科学オリンピック事業、科学クラブアシスタンス事業（SSH 高校との連携）、広島大学わくわくサイエンス等、校外の理数に関する研究活動等に参加した。

特に、広島国泰寺高校（SSH 高校）が中心に行っている研究活動との連携では、物理、化学、生物、数学及び情報の各分野で年間を通じ他校のクラブ生と共同研究を行った。その結果、研究テーマ「セトウチマイマイの起源と進化～殻の形態とミトコンドリア遺伝子の解析」が第58回広島県科学賞研究作品賞〈特選〉広島県教育委員会賞を受賞した。

3年前から始めたこの研究は、参加校の生徒がそれぞれの地域で採集したセトウチマイマイ（カタツムリ）を持ち寄り、遺伝子解析の実験と考察を合同で行ったもので、このような例は全国的にも珍しく、高く評価された。

(イ) サイエンス教室

理科部の活動として、地元の小学生等（80名）を対象に理科実験をわかりやすく紹介する教室を地元の図書館と共催で開催した。

事前準備として、ウミホタルを採集に行ったり、実験の練習や小学生にわかりやすく説明するための工夫を行った。

本年度は、県内の民放テレビ局の取材もあり、「液体窒素実験」「サイエンスマジック」「空気砲」などを行った様子が、ローカルニュースで放送され紹介された。生徒の発表するスキルを高めるとともに、地元の後進を育成することにつながる取組になった。

イ 研修修学旅行（2年次）における探究活動

2年生全員が、希望する学問分野に関し、国際理解や環境、人権、開発などの持続可能な社会の実現に関係した問題（テーマ）を設定して、総合的な学習の時間で探究活動を行い、問題解決の過程を体験した。

本年度の主な研修先として、サウジアラビア大使館・ドイツ大使館・JICA・日本ユニセフ協会・日本赤十字社などを訪問した。

例えば、サウジアラビア大使館では、サウジアラビア王国についての説明（歴史、文化、宗教など）を受け、説明の後、民族衣装を試着（希望者のみ）した。また、JICAでは、実際に海外青年協力隊で外国（ブータン）へ行かれた方から説明があった。いずれも、事前に準備・送付した質問項目と、説明の中で疑問に感じたり、もっと詳しいことが知りたくなったことを追加質問するなど、熱心かつ積極的に研修へ取り組んだ。多くの生徒が、国際理解を深め、異文化に触れ、勉強になったという報告だった。

ウ 英語授業等におけるコミュニケーション能力の開発と海外交流事業
英語表現の時間で、少人数でのコミュニケーション活動を展開し、その中で、異文化理解や世界と日本の関係などをテーマとしたディスカッション等を展開し、持続可能な社会の担い手となる知識やスキルの育成を行った。

また、本校と姉妹校提携を結んだニュージーランドのリンカーンハイスクールと定期的な交流の機会を持ち、国際感覚を高めた。

エ 環境美化活動

本年度も、学校周辺・地域の清掃活動を学年毎で定期的に行った。また、部活動生徒の自律する力や協働する力の高まりから、各部活動毎の生徒による自発的な清掃活動も増えた。

このような環境美化活動を通して、自然環境や公共のものを大切にす
る気持ちを養うとともに、生徒の自己管理能力を育み、社会や自然との
適切な関係性を認識し持続発展可能な社会の形成者を育成することにも
つながった。

オ 高校生平和大使の活動

3年生1名が、高校生平和大使へ応募し、第17代高校生平和大使に選
ばれ、昨年8月にジュネーブで開催された国連欧州軍縮会議へ派遣され
た。記者会見による決意表明や事前の署名活動が新聞・テレビでも大き
く報道された。

現地でも、他の高校生平和大使とともに、平和に向けた署名活動や世
界へメッセージの発信を行い、核廃絶・平和な世界の実現に向けた大き
な役割を果たした。

また、活動の報道をホームルームで紹介したり、全校集会で壮行式・
報告会を行った。こうした取組によって、一人の活動が全生徒の地球規
模の問題に対する国連システムの理解を含めた国際理解、そして平和・
人権に対する関心の高まり、平和活動の広がりにつながった。

(2) 活動時間について

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）